

## 2 指導の重点

### (1) 各教科、「特別の教科 道徳」、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

#### ア 各教科

- ・ 言語活動および体験活動の充実を図るとともに、問題解決的な学習を重視し、主体的に学習に取り組む態度や自ら判断し行動できる力を養う。
- ・ 児童に育成したい資質や能力及び態度を踏まえ、評価の観点や評価規準を設定する。観察や学習記録、レポート等多様な評価方法で評価し、また、学習過程の全段階で継続的な評価を行う。
- ・ 体力テストの結果を踏まえ、本校の課題である瞬発力を高めるための授業改善やコーディネーショントレーニングの継続を通して体力の向上を図る。また、体育の時間の継続的な短なわの取組及び持久走月間や年2回の長縄大会など体育的活動の充実を図るとともに、自らの健康の保持増進に主体的に取り組む児童を育てる。
- ・ 「東京方式習熟度別指導ガイドライン」に基づき、指導方法工夫改善加配教員と連携した2学級3展開の習熟度別少人数指導を実施し、算数教育の充実を図る。定着度の低い児童には「東京ベーシック・ドリル」等を活用し、立ち戻る指導を行うなど、児童一人一人の課題別、興味・関心を生かした授業を展開することで効果的に学力の向上を図る。
- ・ 「全国学力・学習状況調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」「清瀬市学力調査」の結果を学力向上委員会が中心となり分析し「東京方式1単位時間の授業スタイル」「東京ベーシック・ドリル」の活用を明記した「授業改善推進プラン」を作成し、個に応じた指導を推進する。
- ・ 各教科において問題発見・解決的な学習を重視し、導入の工夫、考える時間の十分な確保など魅力ある授業づくりを行い、主体的に学ぶ児童の育成を図る。
- ・ 各教科において学校図書館やICT等の学びのツールを効果的に活用し、「問題発見・解決能力」及び「情報活用能力」を育成を図る。
- ・ 学校支援本部と連携し、地域人材をゲストティーチャーとして招聘したり、地域の教育資源を取り入れたりし、地域に密着した教育活動を実施する。

#### イ 「特別の教科 道徳」

- ・ 「特別の教科 道徳」の授業を要とし教育活動全体を通し、一人一人の人権感覚を高め、互いの人格や生命を尊重する心情を育てる。
- ・ 問題解決的な学習、体験的な学習を取り入れ考え、議論する道徳の充実を図り、自己の生き方の基盤となる道徳的価値観の形成を図る指導を徹底し、道徳的心情や判断力を養い、実践力を育てる。
- ・ 道徳授業地区公開講座等を通して、地域や保護者とともに道徳的価値観の共有を図る。

#### ウ 外国語活動

- ・ 外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを味わわせるとともに、音声やリズムに慣れ親しませ、外国語科の素地となる資質・能力を育成する。
- ・ 外国語に対する関心や意欲、異文化への理解を深めるために、外国語指導助手を積極的に活用する。

#### エ 総合的な学習の時間

- ・ 児童の発達段階に応じ、国際理解や情報、環境、福祉・健康、地域、伝統文化の課題についての学習を通して、自ら学び自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- ・ 自然体験や社会体験、生産などの体験活動や表現活動、他者との協同活動を通して、学び方やものの見方・考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育てる。
- ・ 自ら課題を捉え、主体的に課題を解決していく能力を育てるとともに、自分のよさや可能性に気付き、自らの生き方を考えることができる能力を育成する
- ・ 教科横断的な指導計画を作成し、体験的な活動を取り入れ、我が国の伝統・文化に対する理解、持続可能な社会の構築の観点に基づいた環境教育、福祉教育、食育、キャリア教育の視点を取り入れた指導に取り組む。

#### オ 特別活動

- ・ 特別活動全体計画に基づき、学級活動、児童会活動等の学校行事を通して望ましい人間関係を形成し、集団の一員として、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- ・ 児童一人一人が身近な地域社会に目を向けて設定した課題解決に向けて、主体的、創造的に取り組み、学び方やものの考え方を身に付けることができるようにする。

## 第2表の2

- ・ 学級活動、児童会活動、学校行事において、児童一人一人に目標をもたせ、自己の能力に見合った課題の設定、集団の一員としての自覚を促す指導、自主的・実践的な活動場面の保障をすることで集団行動における望ましい態度を育てると共に、集団の一員としての所属感や連帯感を深めさせる。
- ・ 兄弟学年の活動や学習における異学年交流計画に沿って異学年との交流を実施する。児童自身が関わり合う中で喜びを感じ取ったり、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとしたりする自主的、実践的な態度を育てる。また、互いの違いを認め、豊かな人間性や社会性の育成を図る。

### (2) 特色ある教育活動

- ・ 年間13～17単位時間程度算数の時間に組み込んだ「パワーアップタイム」を設定し、算数における基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
- ・ 学校図書館支援員を全学級の図書の時間に配置し、連携して調べ学習、ブックトーク、レファレンスが行えるようにする。また、週1回の朝読書や年2回の読書週間などで学校図書館および公立図書館を活用し、生涯学習の基礎や豊かな心を育む。
- ・ ICT教育の推進を図り、タブレットPCや実物投影機を積極的に活用し、児童が楽しく学べる授業づくりを充実させる。
- ・ 情報教育担当教員やICT支援員と連携し、ICT機器の有効な活用の仕方についての研修会を行い、児童が主体的に学習課題に取り組む態度を育成するわかる授業の一環として、教員全員がタブレットPC・プロジェクター等の操作を習得し、授業の中で効果的に活用を図っていく。